

令和6年度

無停電電源装置更新工事（〇〇配水場）の実施設計

詳細条件確認書

〇〇設計株式会社

## 目 次

1. 材料
2. 複合工
3. 既存設備の改造
4. 仮設工
5. 全般

### 1. 材料

ケーブル及び電線管の更新範囲は下図のとおりとする。



### 2. 複合工

ケーブルルートの中に壁貫通部があり、その部分で研り及び防火区画処理が必要になる。また、この建物は昭和60年に建築されたものであり、塗料等にアスベストが含有している可能性があることから、アスベスト調査を実施するものとする。



### 3. 既存設備の改造

基本条件確認書に示した通り、本工事における既存設備の改造は必要ない。

#### 4. 仮設工

ケーブルルートに配水ポンプ室があり、その中では高さ8 mのケーブルラックを通すことになる。そのため、高さ〇〇m、幅〇〇mの〇〇式足場を配水ポンプ室内に設置することが必要になる。



#### 5. 全般

##### (1) 見積徴取が必要な材料等

防火区画処理の大きさが1,500mm×1,500mmと大きいことから、建設物価等の資料に該当するものがないため、見積の徴取が必要になる。

防火区画処理の見積徴取先は下記の5社とする。

- ・〇〇株式会社
- ・□□株式会社
- ・××株式会社
- ・△△株式会社
- ・◇◇株式会社

##### (2) 設備停止期間

基本条件確認書に示した通り、無停電電源装置を既設の配水ポンプ室から電気室に移設するため、仮設や仮置きする必要はない。そのため、1度の切り替えで済み、切り替えに要する時間は3時間程度である。

##### (3) 設備停止の影響範囲

本工事で更新する無停電電源装置は各種の制御電源を供給しているため、切り替えの際には配水ポンプの停止が必要であり、機場は全停止しなければならない。そのため、切り替え作業は夜間の0時から4時の間で切り替え作業を行う。

(4) 工事工程表

工程表を添付

(5) 各種検討結果の整理